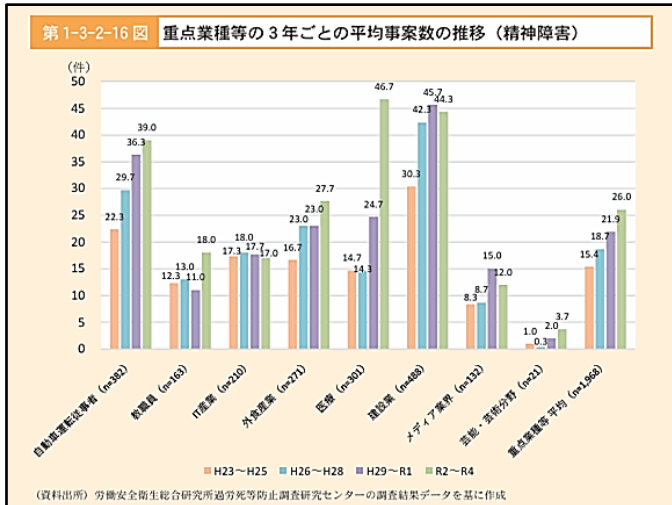


ワーク・ライフ・バランスはやはり必要 過重労働や安全衛生上のリスクが高い建設業

厚生労働省はこのほど、「過労死等防止対策白書（２０２５年版）」を公表。２０２４年４月から時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、監視が強化されたものの、**週６０時間以上働く労働者の割合が１１．６％に上り、全産業平均（８．０％）を大きく上回っていました。**

また**脳や心臓疾患、精神疾患などを含んだ労災認定件数は依然として高水準。**中でも精神障害の分野は「重点業種等の３年ごとの平均事案数の推移」（写真）によれば、医療に次いで多かったです。要因に挙げられるのが「仕事の量・質」「パワーハラスメント」「２週間以上の連続勤務」建設業は日本のインフラを支える重要な産業である一方、**過重労働や安全衛生上のリスクが高い分野と裏付けられました。**

一方で、「ワーク・ライフ・バランスという言葉捨てます」と豪語した高市早苗首相。１１月７日は午前３時４分に公邸入りし、その日の衆院予算委員会の答弁を巡る勉強会に出席しましたが、同委員会で過労による睡眠不足を告白。質問に立った立憲民主党所属で医師の中島克仁衆院議員が「睡眠時間はしっかり取って、信頼できるかかりつけ医に何でも早めに相談をして体調管理には十分ご留意をしてほしい」と気遣う場面も（『毎日新聞』１１月８日付朝刊）。**やっぱりワーク・ライフ・バランスは欠かせません。**



地域との絆を深めた住宅デー 新たな仲間の定着と追求を

１１月９日、建設職人の技術・技能のアピールをはじめ、東京土建のさまざまな活動を地域住民に知らしめる第４８回住宅デーが練馬支部会館などの区内２４会場で開かれました。朝から冷たい雨が降っていたことで、規模の縮小を余儀なくされた分会もありましたが、**恒例の包丁研ぎやまな板削りの依頼はひっきりなし。**関町分会の会場を訪れた５０歳代男性は「**包丁を研いでもらうたびに技術力の高さに感心する**」と話していました。



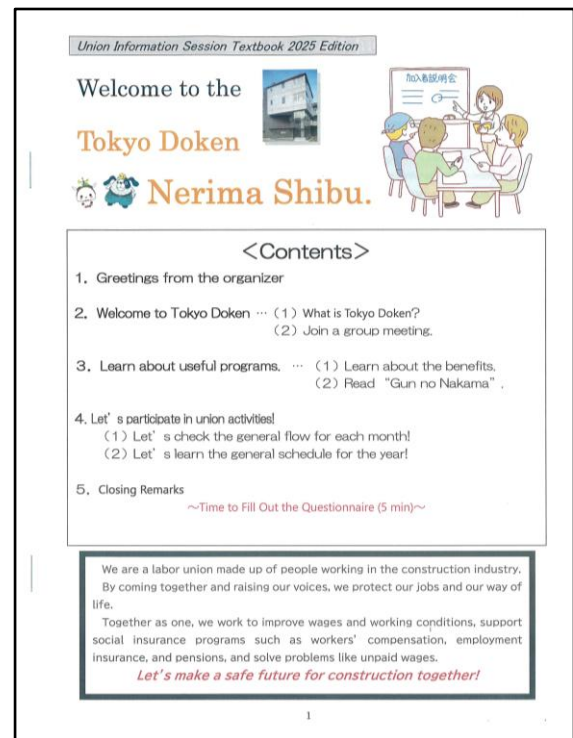
次から次へと包丁を研ぐ関町分会の仲間

“**地域とともに**”を改めて実感した秋の一日です。これに先立ち、１０月３１日に幕を閉じた組合員を増やす「秋の拡大月間」はもう一方の要“**仲間とともに**”を代表する取り組み。各分会は連日連夜、訪問や電話掛けなどの行動で未加入者に接触したものの、**支部目標達成まであと一歩及びませんでした。****１１月１日現在の組合員数は５９９３人。**今年４月の支部定期大会で“チャレンジ２０２５ めざせ６２５０人！”を掲げていることから、**１１～１２月の「年末拡大」に加え、仲間の分会・群定着に向けた取り組みも欠かせません。**

まずは秋の拡大で仲間入りした新メンバーを中心に、東京土建を知ってもらいましょう。**後継者対策部主催の組合説明会＆歓迎会が１１月２７日（木）の夜に各分会センターなどで行われます（※分会によっては開催日時や場所が異なることも。必ず群会議で配られたチラシを確認してください）。**テキストは日本語版のほか、外国人加入者向けの英語版（写真）とインドネシア語版も用意。東京土建のいろはが分かったら、分会・群の仲間を知るために親睦を深めましょう。

組合員のメリットとして、**火災・地震共済**が挙げられます。損害保険大手は自然災害の増加や物価高などを受け、保険料を年々引き上げていますが、東京土建をはじめ、５組合で運営している「**どけん火災・地震共済**」は**掛け金を据え置き**。それなのに**保障内容は充実**しています。このほか自転車保険や自動車共済も仲間と家族に寄り添った制度設計に。**１１月は共済推進月間、１９日（水）にこの統一行動**が組まれています。この機会に契約の切り換えなどを考えてみませんか。

こうした耳寄りな情報を未加入の友人や知人にも伝え、もっともっと仲間を増やしましょう。「**国保料が高くて払えない**」などと不安を抱えている人はまだまだいるはずです。



①じん肺診査ハンドブック改訂案の修正を求める請願署名（群２枚・５人連記）
②「従来の健康保険証を復活させてください」国会請願署名（群３枚・５人連記）

☆**今月の「署名」協力をお願い☆**
【日時・場所】１１月２５日（火）午後６時４５分（開場・同６時３０分）、区立生涯学習センター・ホール
【参加対象】各分会５人（２号動員）
東京土建練馬支部をはじめ、**区内の労働組合や市民団体などは毎年、生活や仕事に関わる要望書を練馬区に提出しています。**この集会は区の回答を加えた懇談内容の報告のほか、**情勢を踏まえた講演として農民運動全国連合会の顧問・横山昭三さんが「主食の米まで危うい日本」**をテーマに話します。

今月は回収月 **財務省宛 国保予算要求ハガキ**

米問題にも思いをはせ **区民要求実現練馬集会**

群の仲間

2025年11月
No.354
東京土建
練馬支部

練馬区
中村北
1-6-2

TEL
03-3825-5522
FAX
03-3825-7547

サンディッチ群会議をすませよう
君の意見のすゝめ
群の仲間「読み合わせ・話し合い」→**集金**

★当面の予定★

11月				
		組合活動	会議関係	その他
16	日			
17	月			
18	火	練馬区要請行動(対区懇談)	後六役会議	
19	水	納入日 共済推進統一行動		
20	木	予算要求集会 区内公共工事元請企業懇談	財政/賛対PAL	
21	金		書記局会議:午後支部閉館 税金:部会 & 学習会	
22	土			労連大会
23	日	女性の会劇団四季観劇交流会		
24	月			
25	火	本部登録 区民要求集会		
26	水		分会長 & 組織財政検討委員会	
27	木	新加入者説明会		
28	金		書記局研修:一日支部閉館	
29	土			
30	日	城北ブロックPALの会東京湾ランチクルージング シニア友の会バスハイク		
12月				
		組合活動	会議関係	その他
1	月		組織/仕事	中執
2	火		書記局会議:午後支部閉館 四役	
3	水		常任	女性四役
4	木		執行委員会	
5	金		教宣	
6	土			
7	日	日曜健診(大泉生協病院)		①城北四役研修
8	月		憲法平和	②城北四役研修 女性役員会
9	火		労働・社保合同	
10	水	分会発送日	六役会議	
11	木			朝志和支部懇談
12	金		分会執行委	
13	土		分会執行委	会館清掃(予)
14	日	練馬母親大会		
15	月			
16	火			

11/21、12/2 の午後は書記局会議のため、11/28 は終日書記局研修のため、支部事務所を閉めさせていただきます。ご協力お願いします。



▼“ものづくり、人づくりの名人”に▼

☑建設マスターに選ばれた今成辰夫さん(学園分会)

今成辰夫さん(左官)が2025年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」に選ばれ、10月28日に文京シビックホールで行われた顕彰式典に出席。建設業の発展や、技能者の社会的地位向上などの長年にわたる功績をたたえられました。

建設マスターは建設業に従事している現役の技能者の中で、卓越した技術・技能を有している人が選ばれており、今年度は452人。また建設



ジュニアマスター(青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰)は119人。それぞれに顕彰状が贈られました。

主催者を代表しあいさつに立った佐々木紀・国土交通副大臣は「**建設マスターはものづくり、人づくりの名人と称するにふさわしい**」と称賛。「インフラ整備のほか、災害対応も担う建設業は国の基幹産業。希望を持てる魅力的な産業に発展させたい」と述べました。

式典後、今成さんは「推薦していただいた練馬支部の仲間感謝している」と話した上で、「私が尊敬する方のように**日々謙虚に、技術の向上を目指したい**。また**これからは後進育成の一助になれば**」と意気込んでいました。

▼改めて確認しておきましょう▼

☑資格確認書は「有効」です

健康保険証の新規発行が終了し、2025年12月で1年。中小企業の従業員や家族が入る**協会けんぽ(全国健康保険協会)**は12月1日で**保険証の期限が切れて同2日以降、資格確認書やマイナ保険証のいずれかを医療機関などの窓口示すこと**に。同協会は保険証に代わる書類を順次発送しています。

ただ、国は6月、各地でマイナ保険証による混乱が続いていることを受け、**期限切れの保険証でも「2026年3月末までは有効**」と関係機関に通知。国の対応が二転三転し、こうしたことも制度の不信を招いていると言えます。

「マイナ保険証をお持ちでなくても、これまでどおりの医療をあなたに」政府はこう宣伝(写真)し、資格確認書の利

まだ、マイナ保険証をお持ちでなくても、これまでどおりの医療をあなたに。

2024年12月2日に、従来の健康保険証は期限切れとなり発行されなくなり、マイナ保険証を新案とする仕組みに移行しています。切り替えがまだお済みでない方も申請不要で届けられる資格確認書で保険診療を受けられます。ご安心ください。また、2024年12月2日時点で有効な保険証は、最長1年間に利用になります。有効期限が切れる場合でも、必要方には資格確認書が交付されます。

マイナ保険証をお持ちでない方

申請不要で資格確認書をお届けします。

後継資格者の方

申請不要で資格確認書をお届けします。※2024年7月末まで

マイナ保険証での受診が困難な方(高齢の方・難病をお持ちの方など)

申請いただくことで資格確認書をお届けします。

診察履歴に基づいたより良い医療が受けられるなど、便利で安全なマイナ保険証への切り替えをご検討ください。

さらに詳しい情報は **政府広報** **マイナ保険証**

用も認めています。ところが、仲間の中には「病院の窓口で資格確認書を見せても、『マイナ保険証でなければ受け付けない』と言われた」**医療機関や薬局も政府に振り回され、スタッフが混乱**しています。

資格確認書は医療機関や薬局で使える。このことを改めて確認しておきます。

▼青年よ、“いいにく”の日に食らおう▼

☑支部青年部交流会～新加入者歓迎会を兼ねて～

【日時】11月29日(土)午後7時30分～

【場所】GOCCHI BATT A池袋西口店

【参加費】1000円 **※初参加者は無料**

◆申込方法などは群に配布したチラシをご覧ください。

▼戦後80年 今一度平和への思いを▼

☑第5回非核都市ねりま平和展2025

【日時】11月21日(金)～24日(月・祝)※**開催時間は日によって異なります**。詳細は群に配布したチラシをご覧ください。

【場所】区立大泉学園ゆめりあギャラリー

【参加費】無料

◆練馬区は1983年、核兵器廃絶と軍縮を進める「非核都市練馬区宣言」を採択。この趣旨を大切に思う市民による展覧会です。**練馬支部も今年7月の憲法フェスタで制作したタイルアートを出品**。また初日の21日は午後7時から(開場6時30分)大泉学園ゆめりあホールで朗読劇や被爆者の証言、歌唱などを組み合わせた特別企画「平和のつどい」を開催します(**全席自由1000円**)。

☑つながろう!平和のバトンコンサート

【日時】11月29日(土)午後2時開演(開場1時15分)

【場所】練馬文化センター大ホール

【入場料(全席自由)】大人:前売2000円、当日2500円、障がい者・学生1000円、介助者・高校生以下無料

◆混声合唱組曲「悪魔の飽食」(作詞・森村誠一、作曲・池辺晋一郎)をうたう東京合唱団による発表のほか、池辺さんと俳優の壇ふみさんによるトークショーも行われます。

▼困ったことがあれば練馬支部へ▼

☑次回の「無料法律相談(弁護士対応)」

【日時】12月8日(月)午後3～5時【内容】仕事からプライベートまで何でも個別相談【場所】支部会館【申込】支部担当者へ

【訂正】

10月号(No.353)で練馬支部運動会の結果を取り上げましたが、北練馬分会の総合計は0点ではなく、**正しくは79点**でした。支部ホームページで公開中の紙面は修正済みです。